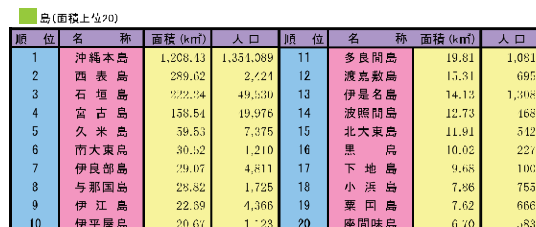


本県は、日本では唯一の亜熱帯性気候と豊かな青い海、明るい太陽のもと、古くは、「琉球」という独立国家の形態をとりながら、南方諸国や中国等との交易を通じて栄え、他県では見られない独特の琉球文化を育んできましたが、1879

平成17年4月1日に、石川市、具志川市、与那城町、勝連町がうるま市、平成17年10月1日には平良市、城辺町、下地町、伊良部町、上野村が宮古島市、さらに平成18年1月1日に佐敷町、知念村、玉城村、大里村が南城市、同日に東風平町、具志頭村が八重瀬町へそれぞれ合併し、これによって県下自治体数は、11市11町19村(令和5年4月1日現在)となりました。

沖縄の概要



縣民人口：縣市町村課「住民基本台帳人口(R5.1.1現在)」

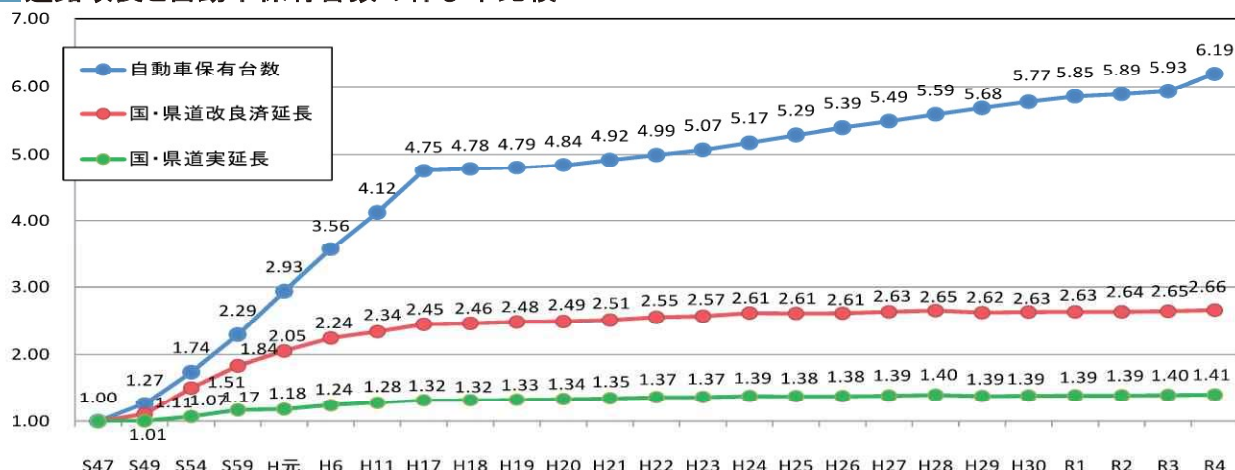
人口 県市町村課「島しょ別住民基本台帳人口及び世帯数(R5.1.1現在)」

(單位) 人口:人、世帶數:世帶、面積: km^2 、人口密度:人/ km^2

市 郡 名	人 口	世 帯 数	面 積	人 口 密 度	市 郡 名	人 口	世 帯 数	面 積	人 口 密 度
県 計	1,485,526	693,790	2,282.09	651	うるま市	125,973	56,140	87.03	1,447
市 部 計	1,145,486	542,287	977.17	1,172	宮古島市	55,562	29,395	203.90	272
那覇市	317,030	158,212	41.46	7,647	南 城 市	45,928	19,471	49.94	920
宜野湾市	100,269	46,828	19.80	5,064	郡 部 計	310,040	151,503	1,304.71	261
石垣市	49,530	25,545	229.15	216	国 頭 郡	65,081	32,503	577.28	113
浦添市	115,702	52,950	19.11	5,952	中 頭 郡	160,321	68,826	107.28	1,494
名護市	64,290	31,733	210.80	305	島 尻 郡	107,534	46,117	234.89	458
糸満市	62,569	28,078	46.60	1,343	宮 古 郡	1,085	529	22.00	49
沖縄市	142,679	65,902	49.72	2,870	八重山郡	6,013	3,528	363.29	17
豊見城市	65,954	28,033	19.33	3,412					

出展：県市町村課「令和5年住民基本台帳人口・世帯数（R5.1.1現在）」、国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（R6.1.1時点）」

道路改良と自動車保有台数の伸び率比較



出典: 1. (自動車保有台数)は、沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和4年版)」 2. (改良延長、実延長)は、国土交通省「道路統計年報(令和3年3月31日時点)」

全国・沖縄道路の普及率比較

道路統計年報(2023年版) 令和5年3月31日現在

道路種別	全国 沖縄 県別	実延長 (A)	改良済延長 (B)	舗装済延長 (C)	人口千人当り 道路延長	人口千人当り 改良済延長	人口千人当り 舗装済延長	車千台当り 道路延長	車千台当り 改良済延長	車千台当り 舗装済延長	面積km ² 当り 道路延長	整備済延長 (B'/A')
高速自動車国道	全国	9,168.0	9,168.0	9,168.0	73	73	73	117	100.0	117	24	100.0
沖縄		57.3	57.3	57.3	39	53.2	39	51	43.3	51	25	103.5
一般国道(指定区間)	全国	24,147.3	24,147.3	24,130.2	193	193	193	308	100.0	308	64	100.0
沖縄		332.2	332.2	332.2	226	117.1	226	294	95.2	294	146	103.5
一般国道(指定区間外)	全国	31,997.0	28,200.3	28,398.5	256	226	227	409	100.0	360	85	100.0
沖縄		174.0	168.3	164.4	119	115	112	154	93.6	149	76	90.1
一般国道	全国	56,144.3	52,347.6	52,528.7	449	419	420	717	100.0	669	149	100.0
沖縄		506.2	500.5	496.6	345	341	338	448	62.4	443	222	149.3
主要地方道	全国	57,878.7	46,371.2	44,278.2	463	371	354	739	100.0	592	153	100.0
沖縄		413.7	383.3	394.4	282	261	269	366	49.5	339	181	118.4
一般都道府県道	全国	72,002.1	46,105.2	42,393.9	576	369	339	920	100.0	589	190	100.0
沖縄		673.7	598.7	580.9	459	396	396	596	64.8	529	295	155.0
都道府県道計	全国	129,880.8	92,476.4	86,672.1	1,039	740	694	1,659	100.0	1,181	344	100.0
沖縄		1,087.4	982.0	975.3	741	669	664	958	96.1	868	477	138.7
市町村道	全国	1,035,194.7	822,444.7	205,101.9	8,285	4,882	1,642	13,222	100.0	7,950	2,739	100.0
沖縄		6,599.3	4,315.3	2,779.2	4,495	2,940	1,893	5,835	44.1	3,815	2,892	105.6
計	全国	1,230,387.9	776,436.7	353,470.7	9,847	6,214	2,829	15,715	100.0	9,917	3,255	100.0
沖縄		8,250.2	5,855.2	4,308.3	5,620	3,988	2,935	10,377	64.2	7,295	3,615	111.1
沖縄シェア		0.7	0.8	1.2								0.7

(注)各数値は、単位未満を四捨五入したため、数値が合致しない場合がある

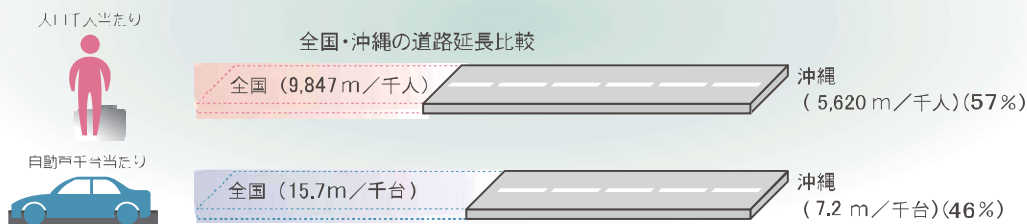
全国面積377,973km²、沖縄2,282km²、全国総人口124,947千人、沖縄1,311千人、全国自動車台数78,295千台、沖縄1,311千台
改良済延長は、国道・県道については5.5m以上、市町村道については5.5m未満含み、舗装済延長は簡易舗装を除く

※道路統計年報2023「都道府県別道路普及率」より

道路延長

本県は、陸上交通のほとんどを道路に依存していることから、道路整備が県民生活や産業活動に与える影響は極めて大きく、重点的に整備を推進しています。

しかし人口、自動車台数当たりの道路延長は全国平均の約5～6割程度と低く、増加する交通需要や高速性・快適性など高度化・多様化する利用者のニーズに対応するには、なお一層の体系的な整備とその質的向上が必要です。



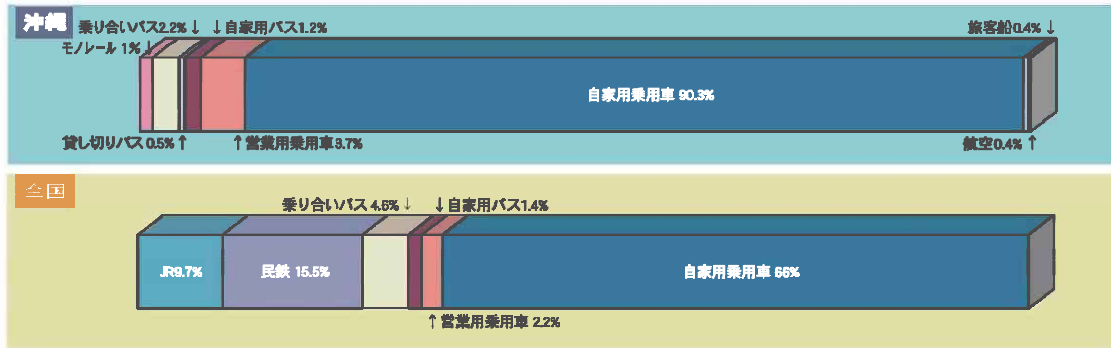
注) 高速自動車国道を含む全道路延長

資料: 道路統計年報 (2023年版)

1. 機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)

全国では、全旅客輸送(域内)のうち約3割を鉄道で分担していますが、本県では、陸上交通のほとんどを自動車に依存しており、道路の役割は重要です。

特に自家用乗用車の分担率は年々上昇を続け、平成21年度には約9割となっています。



交通の状況

2. 自動車保有台数

■自動車三輪以上の保有率

	項目	S47年度末	R3度末	伸び率
沖縄	自動車保有台数 (千台)	198	1,228	6.20
	人口 (千人)	981	1,464	1.49
	世帯数 (千世帯)	237	681	2.87
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.84	4.16
	一世帯当たりの保有台数 (台/世帯)	0.84	1.80	2.16
全国	自動車保有台数 (千台)	21,547	83,025	3.85
	人口 (千人)	107,332	122,423	1.14
	世帯数 (千世帯)	29,577	58,493	1.98
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.68	3.38
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.73	1.42	1.95

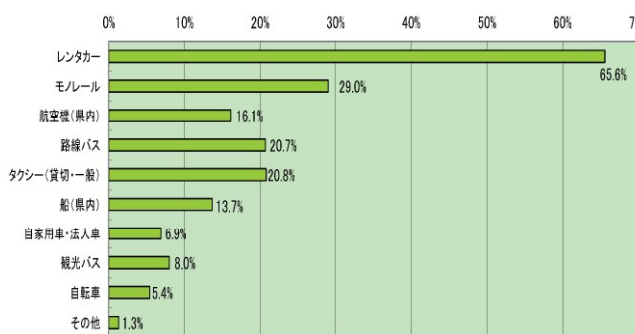
資料：1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和5年1月1日現在)」による。
2. (自動車保有台数)は、一般財団法人 自動車検査登録情報協会の統計情報 都道府県別・車種別自動車保有台数(令和5年3月)による。



3. レンタカーの状況

沖縄を訪れた観光客の移動手段はレンタカーが最も多く、また、レンタカー事業所の推移を見ると毎年増加傾向にあり、令和3年度には1,021事業所(営業所含む)、許可車両台数31,914台となっています。平成12年度と比べて比較すると、事業所数で約9.4倍(912事業所増)、車両台数で約3.6倍(23,032台増)となっています。

■利用交通機関



■レンタカー事業所数及び許可車両台数の推移



4. 交通量 (令和3年度全国道路・街路交通情勢調査より)

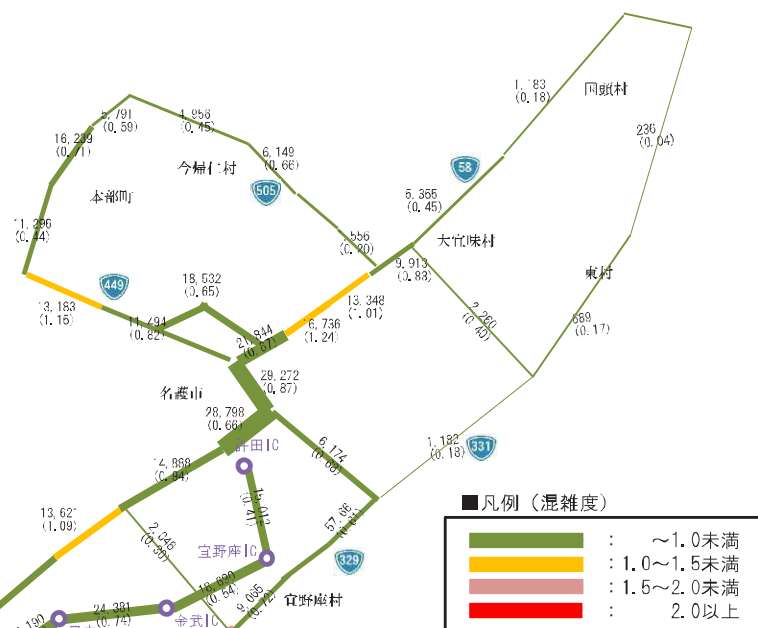


国道58号(那覇市松山)

沖縄本島における幹線道路の交通量は図示の状況です。
那覇市を中心とする中南部で多くなっており、混雑度も高く道路網や交通容量の不足が原因と思われる交通渋滞が発生しています。
(数値は、24時間自動車類交通量(台/24h)、括弧は混雑度を示す。)

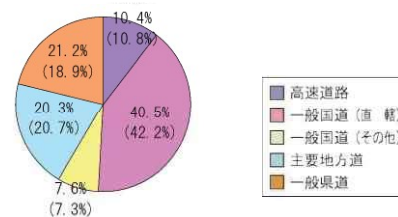
交通の状況

混雑度: 交通量に対する交通容量の比
(=交通量/交通容量)
<<混雑度の目安>>
【1.0未満】
昼間12時間を通して、道路の混雑がなく、円滑に走行できる
【1.0~1.25】
昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時)である
【1.25~1.75】
ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速的に増加する可能性が高い状態
【1.75以上】
慢性的混雑状態を呈する



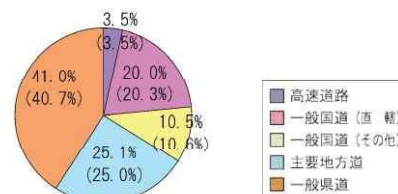
自動車交通分担

・自動車交通量の53%を高速道路及び一般国道(指定区間)で分担している。



自動車交通分担(走行台キロ)

※走行台キロ
自動車走行距離(交通量×延長)の総和(道路交通需要を示す。)



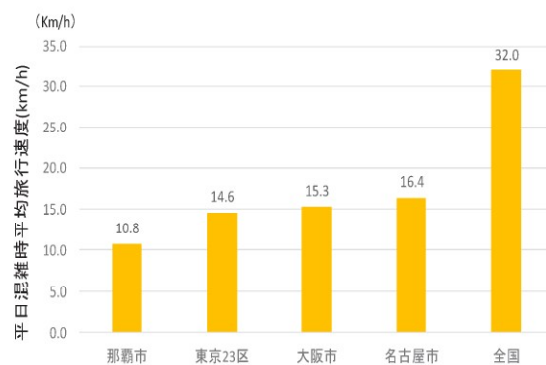
()書はH27センサスの数値

5. 渋滞状況

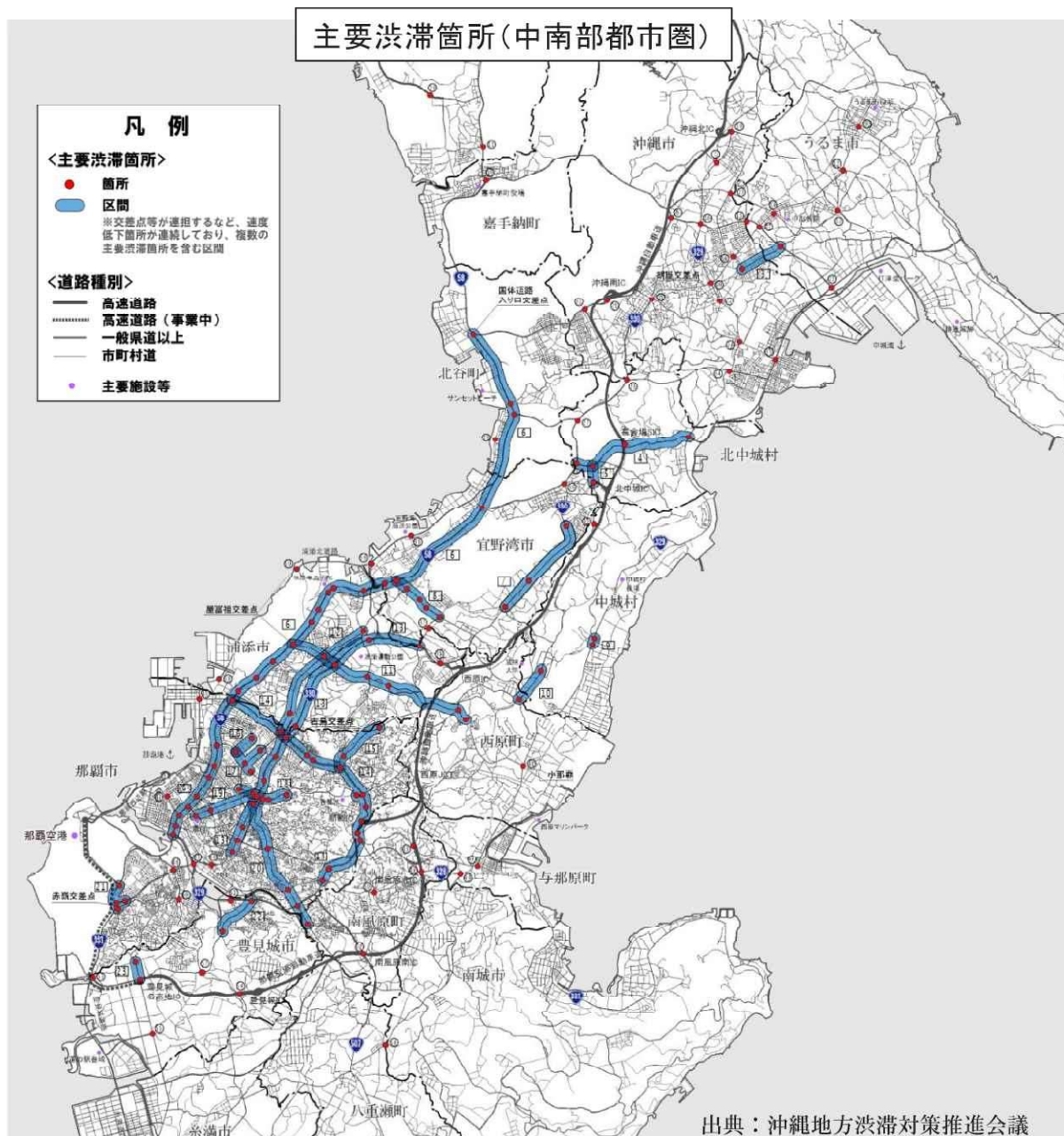
三大都市圏と同等の渋滞状況

那覇市における道路混雑時の旅行速度は、東京23区などの三大都市圏と同等の低い水準となっています。

沖縄県の厳しい道路交通渋滞の緩和・解消を図るため、「沖縄地方渋滞対策推進協議会」において関係機関が協力し、対策の検討・実施を推進しています。



出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（2015）より作成



出典：沖縄地方渋滞対策推進協議会